

いちのせきから ストップ温暖化

eco

第25号

発行

一関地球温暖化対策地域協議会(IEL)

平成30年8月15日

地球温暖化最前線国・ 太平洋の島国 キリバスの叫び



5月12日に盛岡市で日系キリバス一世ケンタロ・オノ氏を講師とする公開講座が開催されました。

キリバス共和国は太平洋のど真ん中、33の島々からなる美しい国です。講座は、この国が直面している地球温暖化・気候危機の現状についての内容でした。以下にその要旨を紹介します。

● 海拔2mの国が存亡の危機

キリバス共和国は811km²の国土に11万人が住む国、陸地の4,000倍以上の海を有し、海に生き、海に生かされる国である。サンゴ礁でできた平均海拔2mの国が高潮や海岸浸食により、今、存亡の危機を迎えている。首都タラワのある島は長さ40kmであるが、幅はわずか350m、その狭さを想像して欲しい。

乾季・雨季が繰り返されるはずが、今年の春まで18か月連続して雨が降らなかった。雨が降らない年と雨が降りすぎる年が極端になっている。また、はるか遠くで発生する台風の巨大化のために高波の被害を受けるようになった。

以前はただ美しいと感じられた大きな満月・スーパームーンも、それが引き起こす海面上昇のため厄介ものになっている。日本の援助によって作られた幹線道路も年に数回冠水するようになり、昔と異なってきた。雨と風と一緒にやってきた時の土壌浸食が最悪で、根がむき出しになったヤシの木は次の満潮で倒れる。

海面上昇が飲料水の塩水化を誘発し、それによって乳幼児の死亡率も高く、平均寿命も日本人より20年近く短い。海水温の上昇によりサンゴが白化・死滅して、魚が獲れなくなり、毒をもつようになっている。



日系キリバス一世

ケンタロ・オノ氏

(一社) 日本・キリバス協会・代表理事、前キリバス共和国名誉領事・大使顧問
1977年仙台市生まれ、1993年にキリバス共和国に単身で高校留学、卒業後も同国に在住、2000年に日本人として初めて帰化、日系キリバス一世に。その後、同国政府関係の役職を歴任し、2011年に日本に再移住。

2015年、何千kmも南を通過した巨大台風の影響で国の予算176億円の半分90億円の被害が発生した。子供たちに教科書の配布もできないこの国では、なおさら漁港の岸壁や道路の修復もできない。マーマウ大統領は「気候変動からは逃れることができず、それへの対応には天文学的予算が必要」と言っている。被害国に対してタイムリーな資金援助メカニズムが必要であり、もう待てない状況にある。

● 誰の責任か!

キリバスの国民1人当たりの温室効果ガス排出量はわずか0.6t、日本では10t以上、こんな差があるのに被害を受けるのはキリバスの人々だ。にもかかわらず日本は未だに石炭を燃やし続け、火力発電所を輸出する国だ。豊かな国土を持つ日本にはたくさんの資源があり、化石燃料を輸入する必要はない。

キリバスではお墓も含め、土地が日々削られていく。土地は過去・現在・未来をつなぐものだ。そして、気候危機最前線・キリバスを守ることが地球を守ることだ。人間が引き起こした地球温暖化は人間が解決しなければならない。まさに人災である。北極海氷上の白クマどころではなく、太平洋の島国キリバスの子供たちの将来へ思いを巡らせてもらいたい。

IELからのメッセージ

現代文明社会と最も縁遠い暮らしを続けてきた人々が、その負の象徴である地球温暖化による凄まじい被害を受け、存亡の危機に直面しているのが現実です。

10年前の洞爺湖サミット、当時の福田首相は「日本が地球を守る戦いの中で、先に発展した国として、より厳しい責任を受け持つのは当然のことである」と明言していました。

ケンタロ・オノ氏も工業化社会の恩恵を受けてきた日本が、太平洋の島々の人たちの実情を知り、率先して温室効果ガスの削減を実現すべきだと訴えています。サンゴ礁からなる島国に比べたら日本は資源大国、キリバスの1.5倍の面積を有する一関市も豊かな自然資源に恵まれています。安価になっている自然エネルギーの利用を進め、脱炭素社会を目指しましょう。

農村を豊かにする 営農型太陽光発電 (ソーラーシェアリング)



「田んぼソーラー発電所」
山形県東根市(秋葉農園)
2018.6.28



田んぼの上に
太陽光発電所がある風景
(秋にはコンバインで収穫)

城南信用金庫(東京)前理事長吉原毅氏を迎えて
講演会「自然エネルギー活用で地域から日本経済の再生を!」が開催されました。
以下に紹介します。

吉原毅氏: (原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟を小泉・細川元首相らと創設し会長を務める)
主催: 一関市民パワー発電所事業化検討地域協議会 (6月8日一関文化センター)

ソーラーシェアリングとは?

農業と発電事業を両立(シェア)する仕組みです。制度上の名称は「営農型発電設備」です。農地の上では発電を、下では農業を行います。太陽光パネルを、上空3~4mの高さに、隙間を空けて設置することで、農業機械が動く空間もあり、太陽光は地上にも届きます。

期待される「経済効果」

講演では、ソーラーシェアリングの経済効果を国内全体で20兆円とし、金融機関の資金面での支援もあると訴えました。電気と作物の地産地消は、石油輸入など外に大きく回っていたお金を地域で小さく回し、地域経済の活性化につながります。

影があっても植物は育つのか?

ソーラーシェアリングの考案者 *長島彬氏は、植物の光合成の「光飽和点」に着目しました。強すぎる直射日光は植物にはむしろ有害のときもあります。太陽光を3分の1カットした実証試験では、ほとんどの作物で収量が極端に悪化せず、逆に増えるケースもあります。ブルーベリーやサトイモなどでは、太陽光を一日中浴びる場所での作柄は悪く、反対に太陽光パネルの影があると良くなる結果でした。

*長島彬著:「日本を変える、世界を変える!ソーラーシェアリングのすすめ」

国内での広がり

事例は全国1200件を超えました。今年5月15日には農林水産省が積極的に後押しする促進策を発表し、導入拡大に拍車がかかりそうです。講演では、千葉県は先進地で「若手農業生産法人の収入安定化」などの優良事例が「^{そうきし}匠達市」にあると紹介されました。

ソーラーシェアリング推進連盟 検索

東北(岩手、山形)の事例

市内では、藤沢町の「吉高太陽光発電所」が大型営農型発電設備として稼働し、7月25日に竣工式がありました。

個人での事例は、山形県東根市にあります。さくらんぼ農家の秋葉さんは「田んぼソーラー発電所」に続き、昨年「わらび発電所」を協賛金方式(返済を農産物で行う方式)で建設しました。1口5万円の融資への返済は、毎年11,000円分の米とさくらんぼで5年間届けるというものです。1300㎡の土地に1,300万円をかけて49.9kWの発電所を建設しました。売電による年間収入は130万円の見込みです。

太陽光パネルは角度を手動で変えられる構造で、暴風の時は水平に、冬場は雪対策として垂直にできます。

「もっと知りたい方のための太陽光発電セミナー」開催

日時: 2018年9月24日(月・振休) 13:00 ~

講師: PV-Net 代表理事 都筑建氏(東京)、秋葉慶次氏(山形)

主催: 一関市民パワー発電所事業化検討地域協議会

場所: なのはなプラザ 3階 大会議室

内容: ①ソーラーシェアリング、②FIT 買取終了の2019年問題など

問合せ: 090-6222-8634 菅原

脱炭素社会を目指す人口減少時代のまちづくり

2月28日当協議会が主催し、「脱炭素なまちづくり」をテーマに先進事例2つを取り上げ、学習会を開催しました。

新電力会社を設立した福岡県みやま市(人口38,000人)

みやま市の新電力会社は家庭や市の施設などに電力を販売していますが、買い取ったメガソーラーの電力と家庭用太陽光発電の余剰電力で、全販売電力量の約4割を賄っています。また、同市では一戸建て住宅の約9%に太陽光パネルが設置されています。そして、電力小売り事業から得られる収益を、地域が抱える様々な課題の解決に利用していく仕組みの創出を目指しています。

コンパクトシティ&ネットワークの山形県鶴岡市(人口129,000人)

一関市と面積、人口ともほぼ同規模で、平成17年10月に6市町村が合併した鶴岡市では、「総合計画」を基礎にしながら「都市再興基本計画」を策定しました。人口規模に応じたコンパクトな市街地の形成を旗印に、旧町村役場周辺はネットワークで結ぶまちづくりを目指しています。また、スポンジ状に発生する市街地の空き家に対しては、それを上手に活用しながら、まちの機能性を高めています。

参加者17名は一関市と対比しながら様々な意見を発表しました。今後も施策提言に向けて学習会を継続する予定です。

ウッドスタート・ゆりかごからの低炭素社会



環境セミナー(馬場清氏)



東京おもちゃ美術館

5月に開催した当協議会の総会に合わせて、東京おもちゃ美術館副館長 馬場清氏を講師に、木育(おもちゃ〜森林)をテーマにした環境セミナーを開催しました。(参加者55人)

東京おもちゃ美術館は、「ウッドスタート〜誕生祝い品で繋げる地域材活用のネットワーク」の実践により、温暖化防止の個性豊かな活動を表彰する「低炭素杯2018」で文部科学大臣賞を受賞しています。

赤ちゃんから始める木のある暮らし「木育(もくいく)」

「木育」は2004年に北海道で生まれた言葉です。「木」が好きな人を「育」てる活動とも言えます。

東京おもちゃ美術館は国産材の活用を進める林野庁とも連携しながら、「ウッドスタート」に取り組んでいます。

始まりは「誕生祝い品事業」で、生まれた赤ちゃんには自治体から地元オリジナルの木のおもちゃが贈られます。このおもちゃは地元の職人が地域材で作ります。プログラム全体は、地域材を消費・活用する「地域材の木づかい運動」にさかのぼるものであり、地域に産業も生み出し、森林の保全や環境に配慮した伐採にも繋がる大きな取り組みです。

ウッドスタートプログラム

- (1) 誕生祝い品事業(必須): 木のおもちゃを赤ちゃんへ
- (2) 木育インストラクターの育成: 木と生きることを提案する人
- (3) 木育円卓会議: 林業・子育て・木育の未来を話す
- (4) 子育てサロン木育化事業: 木を活用した子育て環境作り
- (5) 木育キャラバンの開催: 木のおもちゃとの出会い作り
- (6) 全国おもちゃ美術館: 姉妹おもちゃ美術館を開設
- (7) 地域オリジナルプログラム: 「学習机を地産材で!」「ファーストスプーン(離乳食を木のスプーンで)」など地域に根差した発想を自由に取り入れる無限の可能性を感じます。

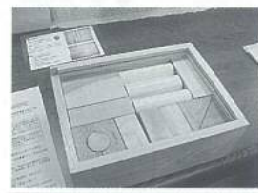
<http://mokuikulabo.info/>

木育ラボ

検索

ウッドスタートには3つのD(デザイン・ドラマ・出番)感動を呼んだ北海道雨竜町の事例

東京おもちゃ美術館に、「ウッドスタートに参加したい」と北海道のある高等養護学校の校長先生から電話が入りました。大歓迎でしたが、生徒が作るになると出来栄や納期などに少し心配がありました。ところが、思った以上の品質の積み木が出来上がり、赤ちゃんへの贈呈式は、校長先生の「町民に学校に来て欲しい」という願いで学校の講堂を会場に行われました。贈呈式に招かれたほとんどの町民は初めて学校に入ります。積み木は、実際に作った生徒から手渡され、受け取った赤ちゃんの家族から「ありがとうございます」とお礼がのべられました。



生徒が作る積み木

生徒に向けて当たり前と言ったこのお礼の言葉が、養護学校の生徒の保護者の心を大きく動かし、「息子はこれまで地域の方々に迷惑ばかりかけてきました。そのたびに私は『ごめんなさい』と謝るばかり。今日初めて地域の方から感謝の言葉をかけられました。こんな機会をいただき本当にありがとうございます」と感激されました。

ここから地域と学校との交流がさらに深まることになり、文化祭に町民が来たり、農業科の生徒が育てた花を道路に植えたり、木工科の生徒も近くの森で間伐や下草刈りを体験したりしています。地域の保育園や幼稚園にも積み木がプレゼントされました。オリジナルデザインのおもちゃがドラマ・出番を生んだのです。

おもちゃ美術館へ遊びに行こう!

東京おもちゃ美術館は、地下鉄「四谷三丁目」駅近くの小学校の廃校利用として地域住民が誘致しました。

おもちゃを「見る」「借りて遊ぶ」「作る」「調べる」美術館です。また、姉妹おもちゃ美術館は予定を含めて全国に10か所あり、最近では「鳥海山 木のおもちゃ美術館」(秋田県由利本荘市)が開館しました。

※岩手県では平泉町など複数の自治体で「ウッドスタート宣言」を検討中。「姉妹おもちゃ美術館」は花巻マルカンビルで計画中。

あなたはもうご覧になりましたか? ~~~地球温暖化を考えるDVD~~~



一関地球温暖化対策 地域協議会作成DVD

「地球温暖化防止のため
私たちが取り組むこと」
全27分



環境省作成DVD 「気候変動への挑戦」全9編

各編 9~27分
全142分

この美しい地球が悲鳴を上げている 今やらなければならないことは何なのか
この美しい地球を 子どもたちに残したい...

最近頻繁に聞かれる、これまでにないような豪雨や酷暑などは、地球温暖化による影響と考えられています。

市立各図書館や各市民センターに、地球温暖化について学べるDVDを置いています。

ご覧になりたい方は、各施設の方にお話し下さい。

地球温暖化とその対策について、このDVDをご覧いただき、できること、やるべきことを考えていただきたいと思います。

残された時間はもうあまりないのかも知れない...

家庭でのエコ ～かしこく向き合うために～

みなさんの家庭でも、テレビや冷蔵庫などの家電が2台、3台が普通になり、エアコンやパソコンも増えていますよね。ところが電気代は年々高くなっているの、消費電力量をどうすれば減らせるか考えなければいけません。でも、くらしの質を低下させずに続けることがなかなかむずかしいというのは誰もが実感しているのではないのでしょうか。

A 「省エネラベル」を よくみよう。

家電製品の売り場では、冷蔵庫やエアコンなどの製品に省エネラベルが貼られています。

2000年に導入されたこの制度は、省エネ性能を向上させるために目標基準値の達成度合いをラベルに表示するもので、省エネ性能を比較するための指標になります。

省エネ性能を星の数で表し、加えて年間使用電力量や電気代がわかりますので、今現在使用している家電との比較で年間の電気代がどれくらい減らせるかがわかります。



B 今どきの冷蔵庫 ～省エネの最たる王様～

冷蔵庫の省エネ技術は、

- ・冷却力を効率よく制御するインバーターの技術
- ・夜間やドアの開閉が少ない時に節電する自動省エネ運転
- ・高性能の断熱材や真空断熱材を使用

などで、20年前の半分以下の電力量になっています。

高性能の省エネタイプの冷蔵庫では、年間の消費電力量は300kWh以下、1日1kWh以内で電気代27円以内です。しかも大容量の600Lの冷蔵庫でもこの範囲ですから、2～3台あるご家庭では、高いお値段でも大容量の冷蔵庫1台に買い替えれば、お得になるのではないのでしょうか。

C お利口さんになった洗濯機!! ～自動エコ運転で節水・節電・時短!～

久しぶりで洗濯機売り場を覗いてみました。どのメーカーも洗濯物の状態に合う洗濯ができるように、しかもムダを省いた洗濯ができるように、よく考えられていました。

●衣類の量(重さ)・質を見分ける布量センサー

このセンサーにより、消費電力量は約8%削減、使用水量は約7%削減のデータもあります。

●汚れの程度・すすぎ具合を見分ける汚れセンサー

汚れが少ないのに、長時間洗濯する必要はないわけです。しっかり洗ったり、洗いすぎのムダをなくすエコ運転機能が搭載されています。

●水硬度や水温にも対応

硬度が低い場合は洗剤量を減らして表示、水温が高い場合も、洗剤量を減らして洗濯時間を短縮します。

●衣類にやさしい低温のヒーター乾燥で節電

高速風と低発熱量のヒーターで乾燥することによって、消費電力を少なくします。

運転時に発生する熱を、乾燥時に再利用する機能もあります。3Kg洗濯のあと、低温風(室温プラス10℃)の大風量でシワを抑えて乾かした場合、1回の電気代が38円との計算があります。

●消臭・除菌・花粉・ダニ対策機能

どのメーカーも賢い機能満載の洗濯機です。自動お掃除で槽を除菌・黒カビの発生を抑える機能もあります。スマホで遠隔操作が可能、洗濯開始や予約もできます。

編集後記

西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」、市民のみなさんの記憶に新しいことと思います。最近、気象災害は驚くほど大規模化しており、いつ何時どんな事態に遭遇するかわかりません。

4月に防災マップ(各地域版)が全戸配布されました。災害に備え、防災マップで危険箇所、避難場所、避難経路、避難情報の取得方法などを確認しておきましょう。

自分では万全の対策と思って、自然の猛威の前に万全である保証はありません。温室効果ガスの排出をこのまま続けると、より深刻な気象災害に直面します。温室効果ガスの削減を一気に進め、被害の最小化を図ることが最大の対策と言えるのではないのでしょうか。(佐々木 勝裕)